

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年7月26日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年7月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【5・6号機用No. 3軽油タンクにおける貯蔵量の低下について】 5・6号機用No. 3軽油タンクの貯蔵量が運用管理値に対して下回っていることを記録にて確認。巡視点検においては、改定前の少ない管理値表示により良否判定が行われていたことを確認。運用管理値は余裕を持った値としており、実施計画で定められている運転上の制限値を満足している。管理方法を見直し予定。</p>	G II
2	<p>【旧登録センターの火災報知設備発報について】 旧登録センターに設置している火災報知設備が発報。現場確認により火災検知器の誤動作と判断。火災検知器の取替えを実施。</p>	G III
3	<p>【5・6号機滞留水移送配管工事における作業員の切創について】 5・6号機滞留水移送配管工事において作業員が誤って、安全カッターで左膝を切創。救急治療室にて治療。</p>	G III
4	<p>【製造会社における排気筒遠隔解体装置の制御盤用電源ケーブルからの発煙について】 排気筒遠隔解体装置の製造会社事務所構内において装置の動作確認を行っていたところ、制御盤用電源ケーブルから発煙。原因を調査中。</p>	G III